

当社は、HS財団の動物実験第三者認証施設です



ミニブタ試験 —歴史と最近の傾向—

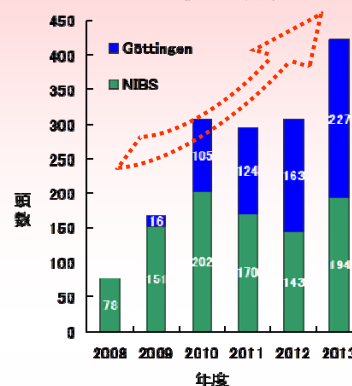


当社は1995年から家畜豚を、1997年からミニブタを使用し始めて約20年が経ち、現在ではミニブタを用いた試験実績が400を越えました。

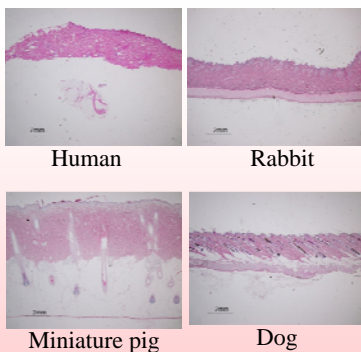
最近では、幼若動物、潰瘍性大腸炎、長期反復(39週)毒性など様々な分野の試験を実施しております。

なお、試験施設は医薬品・医療機器のGLPに適合し、ヒューマンサイエンス振興財団(HS財団)による動物実験施設としての認証も得ています。

ミニブタ使用頭数



皮下組織の比較



※ヒト・ミニブタの皮下には脂肪組織を多く含み、その構造が類似しています

ミニブタ試験実績(2012~2013年度)

試験種	投与経路					
	経口	経皮	皮下	静脈内	他	
薬効薬理	腎泌尿器系	-	-	-	4	-
	循環器系	1	-	-	-	1
	炎症・アレルギー系	-	5	-	-	-
	消化器系	3	-	-	-	1
その他	-	7	-	-	3	
安全性	一般毒性試験	1	10	-	-	1
	皮膚刺激性試験	-	15	-	-	-
	安全性薬理試験	1	-	1	1	-
薬物動態試験	4	7	-	2	-	
医療機器試験	-	-	-	8	22	
再生医療試験	-	-	4	-	6	



↑手術ができる実験室の風景

X線装置、血管内超音波装置など検査機器も多く備えています

佐部利 典彦のアートギャラリー(82)

岐阜県出身(1969~)

作者の言葉

最近ではイメージをより明確に描くために、色を使うのを控えて、白黒のイメージで制作をしています。人や植物のカタチなどをとっかかりにしています。そんなこともあって娘との家の周りの自然の中での散歩は私にとっていろんな意味で重要なものです。制作に没頭し、集中力が高まると、自然に手が動き始めます。でもそこまでの集中力を高めることが、日々の生活の中で苦勞することです。



タイトル: LIFE

サイズ22.7cm x 15.8cm
キャンバスに油彩

ホームページのご案内

当社のホームページでは、各種試験や試験モデルの案内はもちろん、下記のような情報も掲載しております。

- ・学会発表の演題
- ・vivoを創刊号から全て掲載
- ・情報誌NBR Timesの掲載
- ・弊社社員によるブログ など



また [お問い合わせはこちら](http://www.nbr.co.jp/) の入力フォームに必要な事項を入力いただくと、よりスムーズに試験のご案内ができます。是非一度アクセスしてみてください。

URL : <http://www.nbr.co.jp/> (NBRで検索)

今後も皆様のお役に立てる情報を掲載してまいります。ご意見・ご感想等もお待ちしております♪

第41回日本毒性学会学術年会

当社発表演題一覧

2014年7月2日(水)～4日(金) 神戸国際会議場

演 題:CT撮影装置を用いたミニブタの体表面積の計測(その2)
演 者:伊藤 格 **演題番号:**P-26
発表日時:7月2日(水) 16:30～17:30 質疑・応答コアタイム
口 頭:7月2日(水) 9:00～11:56 発表時間8分 神戸国際会議場5階502

演 題:ミニブタを用いた虚血性急性腎不全モデルの確立
演 者:杉浦 孝宏 **演題番号:**P-116
発表日時:7月3日(木) 17:00～18:00 質疑・応答コアタイム

演 題:ミニブタとウサギを用いた皮下刺激性の検討
演 者:加藤 英男 **演題番号:**P-119
発表日時:7月3日(木) 17:00～18:00 質疑・応答コアタイム

演 題:Göttingen minipigにおける血液及び血液生化学検査値の
採血条件による比較検討
演 者:長瀬 孝彦 **演題番号:**P-112
発表日時:7月3日(木) 17:00～18:00 質疑・応答コアタイム

演 題:ミニブタにおける心電図の背景データの解析及び他動物との比較
演 者:鈴木 勇司 **演題番号:**P-113
発表日時:7月3日(木) 17:00～18:00 質疑・応答コアタイム

演 題:ミニブタにおけるSodium Iodateによる網膜毒性の検出について
演 者:坂井田 泰二 **演題番号:**P-117
発表日時:7月3日(木) 17:00～18:00 質疑・応答コアタイム

演 題:実験的乾燥皮膚モデル動物における角質水分量及び
皮膚蒸散量の日内変動について
演 者:山田 恭史 **演題番号:**P-248
発表日時:7月4日(金) 13:30～14:30 質疑・応答コアタイム

企業ブース展示も
行います♪



~~~~~ 関連演題 ~~~~~

演 題:ミニブタを用いたテレメトリー試験におけるQT延長作用薬への反応性及び
データ取得条件が各種データに及ぼす影響の検討 **演題番号:**P-114
演 者:アステラス製薬(株) ※試験実施場所: (株)日本バイオリサーチセンター
発表日時:7月3日(木) 17:00～18:00 質疑・応答コアタイム

会場にお越しの際は、是非
発表にお立ち寄りください

